

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか				小学生の学習スペースは個室で狭くはなっているが場所を替え活動を展開する様にしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	76%	24%		小学生に対し1対1又は2対1で職員を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	76%	24%		壁側に机を置くようにし、学習場面と遊びの場面と配置を替え行っている。
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	88%	12%		放デイは人数も少ない為職員と相談はするが個別に支援する内容が多い。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			保護者から取り組んで欲しい内容を把握して、その都度話し合い実施はしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	76%	12%	12%	毎年自己評価の結果は公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	76%	12%	12%	現在は行っていない
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	76%	12%	12%	職員会議の際に研修内容を替え行っている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			子どもの発達段階をまずは保護者に確認して、その後職員間で話し合い実施している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	88%	12%		支援の内容は状況に合わせて変わる為その状況に合わせて、見直している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	88%	12%		小学生の学習の手順等詳しい職員同士で話し合い相談している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	88%	12%		活動内容は固定化されたものと設定療育は運動や机上の遊びと活動の内容を変えて展開している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	88%	12%		長期休暇にはいつも体験出来ない外出や買い物体験等取り入れ活動している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	88%	12%		その子の実態を把握して、個別に活動や集団の活動に交ぜている。児発に交ぜる事もあり、良い見本となってくれている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	88%	12%		その日の役割分担について話し合いの時間を作り打ち合わせする様にしている。朝礼と昼礼2回
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	64%	36%		その日、その日で子どもの様子に変化は見られる為、様子の確認を行いこれはどうかと職員同士提案する様にしている。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			その日に合った特記すべき事を記入するようにしている。	

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	76%		24%	定期以外の時期にもこの内容で支援は合っているか確認し、計画書に書かれている内容以上の事を行うようにしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	64%	36%		PDCAを取り入れどんな形でもまずは「やってみる」で行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			その子にとって関わりが深い職員が必ず行くようにしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	76%	24%		学校行事や、この時期に行っている事で子どもの様子が変わったりするため把握するようにしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	24%	76%		今現在は医療的ケアが必要な児童は利用していない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	64%	36%		幼稚園や保育園の時から利用している子どももいる為こんな時どうしていたか情報を聞く事もある。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	88%	12%		学校入学の際は毎回会議があるので情報を伝えている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	76%	24%		現在の子どもの様子を把握し、支援する際に必要と思えば情報を提供して貰い、小学生は体も大きくなるため行動の抑制が難しい時は薬の使用に関する相談状況なども確認している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	24%	24%	52%	今現在は行っていない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	36%	64%		自立支援協議会の開催する会議に参加をしている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			保護者とは送迎時、又は連絡ツールを使用し話し合う様にしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	24%	52%	24%	小学生向けには現在開催はしていない。
保	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			その都度変更があった時には伝えるようにしている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			小学生になると、保護者からそれ程相談が来ない事が多いがこちらから聞くようにしている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	24%	24%	52%	人数も少ないためかあまり関わりは見られていない。

護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			苦情と言うよりは保護者からの意見と思いい、その事について職員で話し合い出来る限り対応出来る様にしている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			行った内容を写真や連絡ツール等で伝える様にしている。送迎の際に話をしてる。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	100%			保護者に同意を貰い写真の掲載をしている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	76%	24%		保護者だけでなく子どもの気持ちも尊重し配慮している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	64%	12%	22%	ゴミ拾い等実施している。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	88%	12%		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル作成してあるが、見れる場所に置いてあるだけになっている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			月1回実施し、消防署にも見学に行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			職員会議の際虐待に関する研修会を行い職員に対し内容の把握を促した。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			子ども、職員に対し、危険が及ぶ時には身体拘束も有無負えないが保護者にもその際には説明をし、計画書に明記する様にしている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	76%	24%		今現在アレルギーを持っているお子さんは利用していない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			こんな時は気をつけようと話し合いの場面を持っている。